



産廃処理・3R等優良事業場
(3年連続認定事業場)

日本新薬株式会社

所 在	南区吉祥院西ノ庄門口町14
業 種	製造業
規 模	従業員 864人 敷地面積 29,349㎡ 延床面積 36,750㎡
日本新薬株式会社のページ (外部リンク)	



<事業場記載欄>

事業概要	医薬品・機能食品の製造及び販売
産廃処理に関すること ・ 3Rの推進など環境負荷の低減に関すること	・弊社において、契約中の産廃処理業者は優良認定業者で処理委託を行っております。また契約の産廃業者へ定期的に査察を行って適正な処理を確認し記録を残しております。 ・3Rに関して、全社員が継続的に取り組むことができるように、年1回社員教育を行い廃棄物に関して常に意識するよう活動しています。

廃棄物処理・3Rの推進等の取組紹介

日本新薬本社地区では、環境マネジメントシステムとして、KES ステップ2の認証を2012年6月に取得し、以降現在も継続して、適正な環境保全活動を推進しています。

姿勢と目標

資源が有限であることを十分認識し、再使用や資源使用量の削減を進めると共に、リサイクル原料の活用にも目を向け、自ら排出するものは、リサイクル資源にまわすことで資源循環を図ることを目指しています。これらの総合指標として、廃棄物削減及び最終処分量の削減を図ります。長期目標として2030年度までに廃プラスチック類の再資源化率81.1%を掲げております。

取り組み

資源有効利用のため、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に積極的に取り組んでおり、廃棄物の収集・運搬及び処理の委託は、優良な委託業者を選定しています。電子マニフェストシステムにより適正な管理を行い、委託廃棄物処理業者へは、定期的な実地査察を実施しています。廃棄物の排出から処理、リサイクルにおける業務の効率化とコンプライアンスを実施する廃棄物総合管理サービス（ASP サービス）を利用しており、許可証と処理委託契約書、マニフェストの相互確認が取れた適切な運用を行っています。

廃棄物処理法と京都市条例に基づき適正に廃棄物を処理・管理し、金属の有価物化及び廃プラスチック廃棄物の分別回収を徹底しています。

ペーパーレス化推進の一環として複合機での無駄な印刷の管理を行い、OA紙・コピー用紙の購入量を毎年削減しています。また、情報を電子化して共有し、OA紙の使用を極力抑えております。グリーン購入法に適合した用紙の購入も継続的に進めています。

環境省が進める海洋プラスチックごみを減らす取り組み「プラスチック・スマート」の考え方に賛同し登録しています。登録している「ブルースマイルプロジェクト」では、全社員に配布したマイボトルを積極的に使用することを推奨し「脱プラ化」を推進しています。併せて、自動販売機のペットボトル飲料の販売を中止した結果、2019年度以降のペットボトルごみは「ゼロ」になりました。この取組は、高く評価され、プラスチックの削減について先進的に取り組みを進めている企業として京都市ごみ減量・分別リサイクル総合情報サイト「ここみネット」に紹介されています。